

平成26年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書 (概要版)

三木市教育委員会

点検・評価とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育委員会が1年間に行った施策を自ら振り返り、評価するものです。

この評価結果を踏まえて、今後の三木市の教育をより良いものにしていきます。

なお、本紙は、平成26年度の点検・評価の概要をお示しするものです。各施策の詳細については、本編をご覧ください。

I	教育委員会の活動状況	P. 1
II	施策の点検・評価	
1	子ども一人一人の力を伸ばします	P. 1
2	魅力ある学校園づくりをすすめます	P. 2
3	人と人とのつながりを大切にする生涯学習をすすめます	P. 3
4	その他の取組	P. 5
III	外部評価者の評価	P. 6

I 教育委員会の活動状況

平成26年度は、定例会12回、臨時会8回を開催し、報告9件、議案29件を審議するとともに、24案件について協議しました。また、学校園の入園・入学式、修了・卒業式及び運動会や、成人式、少年スポーツ大会等に出席したほか、播磨東地区、県及び近畿市町村教育委員会連合会が主催する研修会に参加しました。

II 施策の点検・評価

1 子ども一人一人の力を伸ばします

◇取組の目的

幼児期の教育・保育の充実、そして一人一人の状況に応じた学力、心、体力の育成を通じて、子どもたちの個性と能力を伸ばすことを目的に取り組んでいます。

◇主な点検・評価項目

○幼保一体化計画

定例及び臨時の教育委員会を通じて、幼保一体化計画の策定及び関係条例の整備に取り組みました。

現在は、就学前の教育・保育の質を高めるため、「三木市幼保連携型認定こども園教育・保育共通カリキュラム」の策定に取り組んでいます。

○基礎学力の定着と教育の質の向上

「三木市学力向上サポート事業」により、3校を推進校に指定し、実態に応じた学力向上の取組を行いました。

主な三木市学力向上サポート事業推進校の研究主題

・三樹小学校

「確かな読みの力を高める国語科学習指導方法の追求～子どもが意欲的に取り組む単元づくりと言語活動の充実を視点にして～」

・平田小学校

「話し合いでつながり合い、高め合う集団を目指して～自分の思いや考えを自主的に豊かに表現できる児童の育成～」 等

○生徒指導体制の確立

児童生徒のいじめ等の問題行動の未然防止と早期対応のため、相談体制の充実を含めた生徒指導体制の確立に努めました。

・問題行動等の件数の推移 (件)

年度	問題行動					いじめ				
	H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	52	36	26	30	42	7	4	7	8	8
中学校	275	269	223	165	163	15	7	14	22	15

○不登校総合対策推進事業

各校で「学校 I K O K A マニュアル」を活用し、早期対応の必要性・重要性を再認識するとともに、別室登校の対応や家庭訪問など組織的な取組を続けています。

・平成 2 6 年度不登校児童生徒の状況

	人数 (人)	出現率 (%)		
	三木市	三木市	兵庫県	全国
小学校	12(±0)	0.31%	0.27%	0.36%
中学校	34(-18)	1.63%	2.61%	2.69%

※ ()内数字は平成 2 5 年度比

2 魅力ある学校園づくりをすすめます

◇取組の目的

教職員の資質の向上や学校園情報の発信、また、安全・安心な教育環境の整備を通じて、地域社会の中でより積極的な役割を果たしていける学校園を目指します。

◇主な点検・評価項目

○専門研修講座の開催

教職員の指導力及び専門知識の充実を目的として、5つの領域で28の専門研修講座を実施しました。

・平成26年度研修に関する受講者の評価

研 修 項 目	参加人数	受講者の評価 (5点満点)
(ア) 人間力・学校力向上教育コース	261人	4.7点
(イ) 授業力向上教育コース	240人	4.7点
(ウ) 個を生かす教育コース	179人	4.5点
(エ) 情報メディア教育コース	386人	4.6点
(オ) 課題追及コース	80人	—

※(オ) 課題追及コースは、受講者アンケートに評価方式を採用していないため、受講者の評価を記載していません。

○安全・安心な学校園を目指して

平成26年1月9日に発生した市立中学校での転落事案を受け、三木市教育委員会では、三木市教職員危機管理ハンドブックの改訂計画を立て、平成26年度は、第2章「学校園管理下の事故と対応」を改訂しました。

さらに、小学校及び特別支援学校に警察OBを配置し、学校園内及び学校園区内における児童生徒の安全確保を図っています。

○学校施設の整備の推進

老朽化が進んだ学校施設の改修や耐震化を実施しました。

・平成26年度主要事業実績

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費
中学校トイレ改修事業	46,245
小中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業	160,729

3 人と人とのつながりを大切にする生涯学習をすすめます

◇取組の目的

地域や家庭教育の支援、人権教育の推進、市の特色を生かした文化・スポーツ振興事業を通じて、すべての人が尊重され、心豊かに学び続けることのできる社会づくりを目的に取り組んでいます。

◇主な点検・評価項目

○公民館における学習機会の充実

市内10公民館において、乳幼児学級、高齢者教室など、ライフステージに応じた講座を開催し、受講生同士の交流と情報交換を図り、仲間づくりや地域づくりを深める場を提供しました。

・平成26年度生涯学習講座実施状況

講座名	実施回数	延べ参加者数
乳幼児学級	160回	5,387人
家庭教育学級	42回	2,194人
家庭教育推進事業	23回	440人
女性セミナー	86回	2,094人
高齢者教室	84回	4,545人
各種専門教室	516回	7,306人

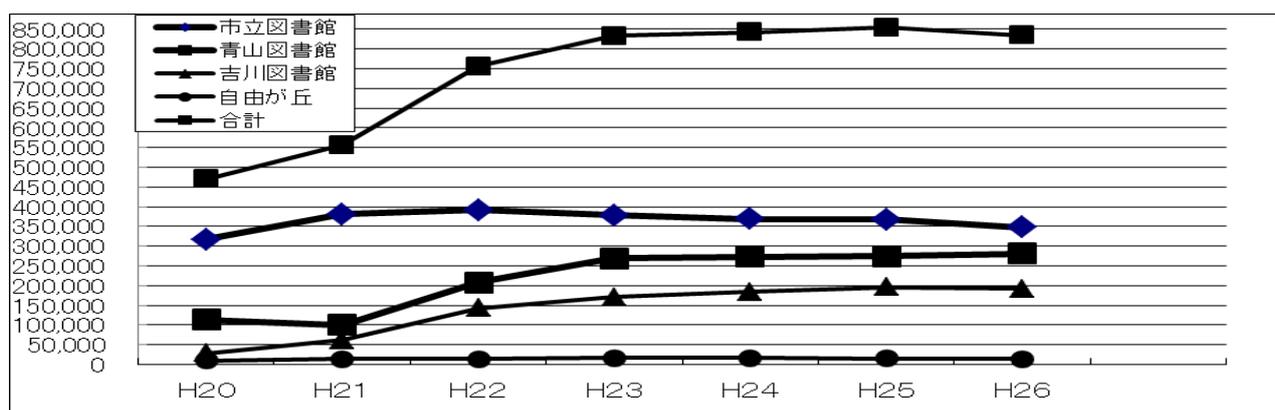
○市民ニーズに対応した図書館の充実

資料に関する調査、相談サービス（レファレンスサービス）を充実し、市民自らが課題を発見・選択して、その解決に向けて取り組んでいくことを支援しています。

また、平成27年7月のオープンに向けて、「三木市立中央図書館」の建設工事を進め、平成27年3月に完成しました。

・図書館貸出冊数推移

(単位：冊)



年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
市立図書館	317,408	381,107	391,183	377,591	368,924	368,010	347,367
青山図書館	113,465	100,820	208,016	269,152	273,545	274,678	280,786
吉川図書館	28,914	62,029	142,945	170,094	183,699	196,010	192,487
自由が丘	10,128	13,182	14,002	15,955	15,869	15,100	14,187
合計	469,915	557,138	756,146	832,792	842,037	853,798	834,827

・完成した三木市立中央図書館



(外観)



(図書館内部)

○生きがいとうるおいを感じる文化の育成

「三木歴史・美術の杜構想」に基づく各種事業の実施や、三木市文化連盟をはじめとした文化・芸術団体の事業活動を支援する補助金交付のほか、運営に係る事務補助や活動成果の発表機会として、芸能祭・市民合唱祭・吹奏楽祭・さつき展・菊花展などを開催しました。

○生きがいを実感できる生涯スポーツの振興

三木市スポーツ振興ビジョンに基づき、各種スポーツ大会の開催や、三木の特色を生かしたスポーツの振興として、市民ゴルフ大会やジュニアゴルファーの育成を目的としたみっきいジュニアゴルフ塾を実施しました。

・平成26年度スポーツ大会等開催状況

月 日	内 容	場 所	人 数
5月3日	ふれあいスポーツデー	三木ホースランドパーク	500
5月17日	スナッグゴルフペア大会	三木ホースランドパーク	52
10月11日	スナッグゴルフペア講習会	三木ホースランドパーク	36
10月18日	小学生スナッグゴルフ大会	三木ホースランドパーク	31
12月6日	スナッグゴルフペア大会	三木ホースランドパーク	58

4 その他の取組

◇取組の目的

学校教育事業を補助する諸活動を通じて、子ども達の教育のより一層の充

実を図ることを目的に取り組んでいます。

◇主な点検・評価項目

○奨学資金給付事業

経済的理由で高校、大学、専修学校等の学資の支弁が困難な世帯に対し、奨学資金を給付し、円滑な進学を促進しています。

(ア)	総事業費	29,181 千円		
(イ)	奨学金受給者数	332 人		
	【内訳】			
		国公立高校生	(6,000 円/月)	207 人
		私立高校生	(12,000 円/月)	22 人
		大学生	(9,000 円/月)	76 人
		専修・各種学校生	(9,000 円/月)	27 人

Ⅲ 外部評価者の評価

京都教育大学教授の竺沙知章氏と、兵庫教育大学教職大学院非常勤講師の廣岡徹氏に学識者評価を賜りました。評価の詳細については、本編をご覧ください。